

価値創造の歩み

塗料業界のリーディングカンパニーとして、社会・環境の変化に応じた塗料をグローバルに提供しています。

日本で初めて塗料の量産化に成功して以来、当社は革新的な技術の開発により社会課題の解決に取り組んできました。今後も、社会や環境の変化に応じたお客さまの多様なニーズ、さまざまな社会課題にお応えする新たな製品・サービスの創出に尽力しながら、グローバルでのプレゼンス拡大と持続的な成長を目指していきます。

60年にわたって協業を深化。そして、アジアの頂点へ。

当社とWuthelam(ウットラム)との協業の始まりは、シンガポールにおいてバン・マレーシア・ペイント・インダストリー社(現日本ペイントシンガポール)を共同設立した1962年までさかのぼります。当社は1933年頃からアジア各国へ進出していましたが、この協業を皮切りに、技術開発や生産を当社が、ローカルマネジメントとセールス・マーケティングをウットラムが担うようになり、それぞれの強みを生かした事業運営が可能になりました。これが現在の「NIPSEA(Nippon Paint South East Asia)」事業の出発点です。

その後、タイやマレーシア、フィリピン、韓国などへNIPSEA事業を拡大し、1992年には中国本土に事業展開を果たしました。2014年にはNIPSEA事業を当社が連結子会社化するなど、協業関係はより一層深化しています。こうして、当社はアジア1位、世界で4位の塗料メーカーとなりました。

1881年
**技術の進化で
人々の暮らしを支える**
無毒性の亜鉛華を開発

1881年、創業者茂木重次郎は、白粉(おしろい)に含まれていた白色顔料の一種である鉛白の中毒で苦しんでいた女性たちを助けるため、無毒性の亜鉛華を日本で初めて開発しました。技術の進化で社会課題を解決してきた創業の原点があります。

国内初!

1990年
**地球環境と人に
やさしい製品を**
錫フリー船底防汚塗料を開発

海洋汚染の問題にいち早く目を向け、1990年に世界で初めて加水分解型錫フリー船底防汚塗料を開発するなど、当社は環境汚染への対応や安全性の向上を重視し、地球環境と人にやさしい製品開発に取り組んできました。

世界初!

2007年
**船舶運航のCO₂削減し、
地球温暖化防止に貢献**
マグロの構造を参考に船底塗料を開発

日本ペイントマリンはマグロの皮膚をヒントに低摩擦型船底塗料を世界で初めて開発、船舶の燃費の大幅な削減を実現しました。この製品の普及により、環境省の令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰、対策技術先進導入部門を受賞しました。

世界初!

2017年
**社会の安全・安心を
高機能塗料でサポート**
抗菌・抗ウイルス塗料の開発

室内用の抗菌・抗ウイルス塗料パーフェクトインテリア エアークリーンは、業界初かつ唯一、光触媒工業会(PIAJ)※に認定されています。菌やウイルスの繁殖を抑制する効果が見込まれ、社会の安全・安心をサポートします。

※ 光触媒工業会が、性能、利用方法などが適切であることを認めた光触媒製品に与える認証

業界初!

2000

- 2014年**
持株会社体制への移行
アジア合併事業の連結化
- 2015年**
事業別の事業会社に分社化
- 2016年~19年**
M&Aによるグローバル化推進
Bollig & Kemper, Dunn-Edwards, DuluxGroup, Betek Boyaを買収

1880

- 1881年**
前身の「共同組合 光明社」設立
- 1898年**
「日本ペイント製造株式会社」設立
- 1927年**
「日本ペイント株式会社」と改称
- 1931年**
本社を大阪に移転
- 1949年**
ウットラム設立

売上収益の推移

■ 国内売上収益 ■ 海外売上収益

1960

- 1962年**
アジアの販売代理店としてウットラムと提携、NIPSEA事業の開始
- 1967年~84年**
国内生産拡大に向けて、各地で工場を建設
- 1967年~94年**
タイ、マレーシアをはじめとし、ASEAN事業を積極的に拡大
- 1975年**
米国に進出

1980

- 1992年**
中国に進出

ウットラムとアジアで協業を開始(NIPSEA事業の開始)

ウットラムとの協業を深化